

ONLINE SYMPOSIUM
in the UNITED NATIONS

拉致問題に関する オンライン国連シンポジウム

北朝鮮による拉致問題は、歴史上の事件ではなく、今なお被害者が自由を奪われ帰国できない状態が続いている現在進行形の問題であり、一刻も早い解決が必要な国際的課題です。日本、米国、豪州、韓国政府及び EUは、国連のサイドイベントとして、「拉致問題の一刻も早い解決に向けて機会の窓を開く」をテーマにオンラインのシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、日本及び諸外国の拉致被害者等御家族の「生の声」の訴えを発信するとともに、北朝鮮情勢に関する有識者をお招きし、拉致問題の一刻も早い解決に向けた方策や国際社会にとっての重要性等について理解を深めるための議論をしていただきます。

日本時間 | 20:30~22:15

NY時間 | 7:30~9:15

2026
6/24 WED
水

PROGRAM プログラム

1/開会の辞

山崎 和之

国連日本政府常駐代表・特命全権大使

2/基調発言

木原 稔

内閣官房長官兼拉致問題担当大臣

3/各共催国等代表挨拶

マイク・ウォルツ

国連米国政府代表(常駐代表)・特命全権大使

ジェームズ・ラーセン

国連豪州政府常駐代表・大使

車 智勲(チャ・ジフン)

国連韓国政府常駐代表・特命全権大使

スタブロス・ランブリニディス

国連EU代表部代表・特命全権大使

4/拉致議連代表からの挨拶

古屋 圭司

北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟会長

5/拉致被害者等御家族からの「生の声」の訴え

横田 拓也

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表

飯塚 耕一郎

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長

吉見 美保

特定失踪者家族会(北朝鮮による拉致の可能性を排除できない失踪者家族有志の会)副会長

ジェームズ・スネドン

デービッド・スネドン氏 兄

バンジョン・パンチョイ

アノーチャ・パンチョイ氏 甥

6/パネルディスカッション

モデレーター

西野 純也

慶應義塾大学教授

パネリスト

ジェームズ・ヒーナン

国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)ソウル事務所長

ブルース・クリングナー

モーリン・アンド・マイク・マンスフィールド財団シニアフェロー

グレッグ・スカラト

北朝鮮人権委員会(HRNC)代表兼CEO

7/閉会の辞

山崎 和之

国連日本政府常駐代表・特命全権大使

拉致問題の一刻も早い解決に向けて機会の窓を開く



本シンポジウムの模様は、YouTube拉致問題対策本部公式動画チャンネル(日本語・韓国語・タイ語)及びUN(国連)Web TV(英語)を通じて、生中継しますので、一般視聴可能です。奮って御視聴ください。シンポジウム終了後には、アーカイブから御覧いただけます。

YouTube拉致問題対策本部
公式動画チャンネル

日本語 韓国語 タイ語

<https://www.youtube.com/@rachitaichannel/streams>



UN Web TV

英語

<https://webtv.un.org/>



主催

日本、米国、豪州、
韓国、EUによる
共催